



◆国道361号羽淵交差点の状況

問 交差点からの誘客に何か仕掛けが出来ないか、また伊那々木曾運行バスの羽淵での停留所の設置は。(森川)

答 看板も含め手立てはしているが規制もあり難しい点もある。バス停については奈良井宿までの運行が不可能であり、負担金も大きく設置は見合わせた。



国道361号羽淵交差点

問 木曾々新宿間の高速バス停の増設は。(森川)

答 現路線は協定等により不可能だ。松電(株)に塩尻発の運行か、松本発のバスを塩尻市内に迂回できるか要望してる。



塩尻市としての農業施策の方針は？

農業政策と環境問題

◆地元産大豆に奨励策を

問 「地元の食材で安心な生活を」の声が高まっているが、価格保障が無くなり、大豆栽培が減り、地産地消の味噌をとの要望に応えられなくなる。栽培農家を支援する市独自の支援策等は。(鈴木)

答 市場作物として、大豆はコメの半分程度で、何らかの対応がなければ作付けは増えない。長野市の例での試算では、市内の収量を倍化した場合、約一千万円が必要。投資

効果、他の予算との兼ね合いもあり、可能かどうか検討し、できることを取り組んでいく。



食料自給率の引き上げと持続可能な農業経営の実現を

◆食料自給率引上げのために

問 農業を立直し、自給率を引上げることが国政の最優先課題であり、持続可能な農業経営の実現をめざして、価格保障と所得保障を抜本的に充実することが必要と考えるがどうか。(柴田)

答 具体的価格までは判断できないが、全体の方策としてはまったく同感である。

問 長野市に小麦、大豆、そばを出荷する農家に奨励金を交付する制度がある。本市でも研究できないか。(柴田)

答 議会でもぶどうの価格保障の議論があったが実現して

いない。安心・安全の議論が高まっている今、適期と考え、早急に研究していきたい。



小麦・大豆・そばなど、農家への奨励制度の研究を

◆環境対策について

問 各種廃棄物等の処理業者の違法建築等に対する指導はどのようにおこなっているか。(金子)

答 事実が見受けられた場合は、県へ報告をおこない指導を求めている。

子育て

環境整備

◆囑託保育士の正規職員化を

問 保育士は正規職員110名に対して囑託職員168名と60%以